

第58回認定 構造改革特別区域計画の概要

番号	都道府県名	申請主体名 (地方公共団体名)	特区の名称	特区の区域 の範囲	特区計画の概要	特例措置の番号	特例措置の内容
新規計画9件							
1	北海道	根室市	ねむろ果実酒特区	根室市の全域	近年、本市の主要産業である漁業や農業を取り巻く環境が厳しさを増すなか、新たな産業の創出が急務であり、冷涼な気候を生かした醸造用ぶどうの栽培が進められている。 そこで、特例措置を活用し果実酒製造に参入し易い環境を整えることで、地元産ぶどうを原料とした付加価値の高い商品の開発を促し、交流人口の増加や新たな雇用創出などの地域経済の活性化をはじめ、耕作放棄地の未然防止や農業就業人口の増加など地域農業の振興を図るものである。	709(710、711)	特産酒類の製造事業
2	北海道	北海道磯谷郡蘭越町	蘭越町ワイン特区	北海道磯谷郡蘭越町の全域	本町では、稲作を中心に畑作や園芸、果樹生産が営まれ、農業を基幹産業としているが、担い手の確保や、担い手不足による耕作放棄地や遊休地の発生が大きな課題となっている。 特例措置を活用することにより、消費者や実需者のニーズに対応した、多様なワイナリーの産地を形成することで、農業振興及び地域活性化を図り、担い手不足の解消や新規就農に寄与することが期待される。	709(710、711)	特産酒類の製造事業
3	千葉県	匝瑳市	匝瑳市どぶろく特区	匝瑳市の全域	本市では、農業者・事業者・関係機関等と連携し、地域資源を活用しながら、地域農業の振興や観光誘致に取り組んできた。しかしながら、農業産出額や観光入込客数は減少傾向にあり、地域資源をフルに活用した魅力あるコンテンツの磨き上げと実施が必要である。 そこで、特例措置を活用して濁酒の特産品化を進め、農産物の6次産業化、高付加価値化を促進する。また、濁酒を新たな目玉として、本市の認知度向上や産品の販路拡大、観光客の誘致等に繋げることで、ヒト・モノ・カネの流動性を高め、もって本市の活性化を図ることを目標とする。	707(708)	特定農業者による特定酒類の製造事業
4	長野県	長野県	長野県地域中核人材育成特区	長野県の全域	本県では、経済・社会環境が変化する中でも、持続的な産業発展を図るため、「学び」により一人ひとりが職業能力を高め、生産性向上を図ることが重要となっている。 そこで、実践的技術教育に強い職業能力開発短期大学校と工学の基礎理論と研究に重きを置いた教育を実践している大学が連携して共同教育を実施することで、実践的で高度な技術力を習得した学生が大学へ編入学し、先端技術の研究開発力やマネジメント力を身に付け、両者を兼ね備えた新しいタイプの地域中核人材を育成する教育システムの構築を図る。	836	職業能力開発短期大学の修了者の大学編入学事業
5	長野県	長野市	長野市ワイン・シードル特区	長野市の全域	本市では、令和3年産農業生産額のうち、果樹が約44%を占めており、主要農産物となっている。 果樹生産が盛んな本市で、特例措置を活用し、地元産果実を原料とした果実酒の製造という付加価値を加え、新たな産業の創出、地域の活性化を目指す。併せて原料果樹の生産拡大による遊休荒廃農地の有効利用及び新たな雇用や就業機会の創出など農業振興につなげる。	709(710、711)	特産酒類の製造事業
6	愛知県	岡崎市	岡崎市ワイン特区	岡崎市の全域	本市のぶどうは、主に市内北部で複数の品種が生産されており、ジャムやジュース等の加工品も販売し、市外からの消費者も多い。 一方、ぶどうをはじめとした農業全般において、農業就業者数や農地面積が減少し続け、生産基盤の脆弱化が課題となっている。 そこで、本特例措置の活用により、岡崎産ワインのブランドを確立するとともに、6次産業化を推進し、新規就農者の増加や新たな雇用の創出などの地域の活性化を図る。	709(710、711)	特産酒類の製造事業
7	兵庫県	淡路市	淡路市ワイン特区	淡路市の全域	淡路市は、農業従事者の高齢化や担い手不足などによる遊休農地の拡大抑制が必要となっている。 本特例措置の活用により、淡路市産ぶどうを原料としたワイン製造者の新規参入要件を緩和することができ、原材料となるワイン用ぶどう栽培面積の拡大による遊休農地の有効活用、新たな特産品の創出による地域農家の農業経営の多角化及び雇用の拡大を図る。また、関係人口の増加や新規就農者の増加により地域の活性化を目指す。	709(710、711)	特産酒類の製造事業

番号	都道府県名	申請主体名 (地方公共団体名)	特区の名称	特区の区域 の範囲	特区計画の概要	特例措置の番号	特例措置の内容
8	熊本県	熊本県	熊本県高度人材育成・確保特区	熊本県の全域	<p>本県では、世界的な半導体不足を背景に、世界有数の半導体企業の製造工場建設が進んでおり、約1,700人の先端技術に通じた人材の雇用が見込まれる一方、人材の育成と確保が課題とされていることから、本計画の認定を通じ、熊本県立技術短期大学校から国立大学法人熊本大学への編入学が実現し、実践力を併せ持つ半導体技術に精通した高度人材の育成が促進されることで、地域産業の高度化、ひいては国内半導体産業の発展に貢献することが期待できる。</p>	836	職業能力開発短期大学校の修了者の大学編入学事業
9	宮崎県	宮崎県東臼杵郡椎葉村	椎葉村どぶろく特区	宮崎県東臼杵郡椎葉村の全域	<p>本村域内でどぶろくの製造や提供が行われることにより、民宿等を営む農業者収入の安定化のみならず、6次産業化による新たなブランド創出や雇用創出により、少子高齢化が進んでいる本村の地域活性化や都市部との交流人口の増加を見込んでいる。</p> <p>自家栽培した米でどぶろくを製造し観光客に提供・販売、また、田畑や休耕田を活用した稲作等を農業体験としてメニュー化することにより、農産物の地産地消の促進、農業の活性化も目指している。</p>	707(708)	特定農業者による特定酒類の製造事業